

原発関連の動き

(赤：国外関連、青：地震など関連情報、緑：事故など)

「2021 年 12 月」

2021年

- 12月1日 午前5時50分ごろ、山形県置賜地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.8と推定。山形県米沢市で震度3。
- 12月1日 アメリカのグランホルム・エネルギー長官が、カリフォルニア州が州内に唯一残るディアブロ・キャニオン原発の閉鎖計画を見直す可能性を示唆した。
- 12月1日 玄海原発3号機の原子炉格納容器内で一次冷却水の放射性ヨウ素濃度を測定したところ、放射性ヨウ素濃度が通常より若干上昇したため、九州電力は監視体制を強化すると発表した。
- 12月1日 原子力規制委員会が、東海第二原発のテロ対策施設が新規規制基準に適合しているという審査書案を決定した。今後、経済産業大臣などの意見聴取を経て正式合格となる。
- 12月1日 柏崎市の桜井雅浩市長が、新潟県が公表した柏崎刈羽原発の災害発生時の避難に関する試算について、「意図が理解しかねる」と一部に疑問を呈し、「より実態に即した改善策を、優先順位をつけてお願いしたい」と述べた。
- 12月1日 23時31分ごろ、岩手県内陸北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。青森県五戸町、秋田県鹿角市、小坂町で震度3。
- 12月2日 午前1時58分ごろ、茨城県南部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。茨城県筑西市、栃木県鹿沼市、下野市、高根沢町で震度4、福島県、関東広域で震度3。
- 12月2日 愛媛県の伊方原発3号機が、1年11カ月ぶりに再稼働した。12月6日には送電を開始し、2022年1月4日に通常運転を再開させる予定。
- 12月2日 石川県の志賀原子力発電所の現地調査を行ったことを受け、2日から県の専門委員会が原発敷地内の断層の現地調査に入った。
- 12月2日 福島第一原発を視察後、原子力規制委員会の更田豊志委員長が、汚染処理水海洋放出を2023年春ごろに開始するとの政府や東電の方針について「かなり苦しい時期に来ている」との認識を示した。
- 12月2日 環境省が、福島第一原発事故に伴う除染土を福島県大熊町の中間貯蔵施設に搬入した際、袋から漏れ出た放射性物質を含む恐れのある水を排

水路に流すルール違反があったと発表した。8月24日、大型土嚢6袋を積んだトラックがカーブで最大188リットルの水を路面に漏らした。縛り口が緩かったとみられる。

- 12月2日 17時25分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.7と推定。福島県楡葉町で震度3。
- 12月2日 日本原子力研究開発機構の高速実験炉「常陽」の再稼働の目標時期が、2022年度末から24年度末に延期された。
- 12月3日 午前2時18分ごろ、山梨県東部・富士五湖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。山梨県大月市で震度4、東京都町田市、神奈川県横浜泉区、横浜青葉区、相模原緑区、相模原中央区、相模原南区、秦野市、厚木市、山北町で震度3。
- 12月3日 午前2時23分ごろ、山梨県東部・富士五湖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.6と推定。山梨県大月市で震度3。
- 12月3日 午前6時37分ごろ、山梨県東部・富士五湖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.9と推定。山梨県大月市で震度5弱、神奈川県相模原緑区、相模原中央区、厚木市、松田町で震度4、関東広域で震度3。
- 12月3日 午前9時28分ごろ、紀伊水道を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.4と推定。和歌山県御坊市で震度5弱、三重県熊野市、兵庫県南あわじ市、和歌山県有田市、田辺市、湯浅町、和歌山美浜町、和歌山日高町、由良町、和歌山印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、すさみ町、徳島県阿南市、吉野川市、美馬市、那賀町、美波町、板野町、香川県さぬき市、東かがわ市で震度4、京阪神、中国四国地方広域で震度3。
- 12月3日 日立製作所とアメリカのゼネラル・エレクトリックの合併会社は、小さく建設コストが低いとされる小型原子炉の建設をカナダの電力会社から受注したと発表した。日本企業が受注にかかわるのは初めて。
- 12月3日 福島第一原発の放射性汚染水の海洋放出と関連し、韓国と日本政府がブリーフィングセッションを行った。韓国側は日本政府の海洋放出方針に対し、重ねて懸念を表明した。
- 12月4日 午前7時29分ごろ、長野県南部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは2.8と推定。長野県木曾町で震度3。
- 12月4日 佐賀県を震源とする地震が発生し、玄海原発4号機の原子炉が破損、放射性物質が外に漏れ出したとの想定で訓練が行われた。玄海原発から30キロ圏内にある佐賀・長崎の市や警察、消防、自衛隊など55の機関から約900人が参加した。

- 12月4日 日本時間午後4時ごろ、インドネシアのジャワ島東部のスメル山が噴火し、13人が死亡、約100人がけがをした。噴火後には火山灰が空を覆い、溶岩が流れ出る様子も確認された。
- 12月4日 十島村・諏訪之瀬島の御岳で、23時までには噴煙量が中量以上の噴火が1回あった。福岡管区気象台によると、噴煙の高さは1000メートル。大きな噴石が南に500メートル飛んだ。
- 12月4日 19時48分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.0と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月4日 23時25分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.0と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月5日 午前0時08分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.5と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月5日 午前0時26分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月5日 午前4時05分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.5と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月5日 午前5時14分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月5日 午前11時00分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月5日 午前11時14分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.8と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度4。
- 12月5日 13時06分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.3と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月5日 22時34分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.3と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月6日 日本時間午前6時46分ごろ、トルコ東部でマグニチュード4.9の地震が発生した。
- 12月6日 午前10時59分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月6日 四国電力が、伊方原発3号機の発電と送電を開始した。来年1月4日には原子力規制委員会の検査を受け通常運転を再開する予定。
- 12月6日 17時09分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.4と推定。福島県相馬市、田村市、楡葉町、大熊町で震度3。

- 12月7日 午前5時04分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.7と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月7日 午前11時13分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.6と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月7日 島根原発2号機の再稼働について、島根県内8市の商工会議所で作る連合会が、再稼働に向けた手続きを迅速に進め早期稼働をめざすよう丸山知事に直接要望した。
- 12月7日 福島第一原発の汚染処理水の海洋放出問題を議論するため、韓国が日本に提案した2国間協議体の設置について、韓国の外交部当局者が、「まだ日本側でも内部協議を通じ検討しているという公式回答を受けた」と明らかにした。
- 12月7日 むつ市議会が、使用済み核燃料中間貯蔵施設に関する調査検討特別委員会を開催した。東京電力など事業者の親会社から参考人を招致し、説明を求めたが、具体的な事業計画は示されなかった。
- 12月7日 復興庁が、福島第一原発事故の「風評払拭」に向けた取り組みとして、首都圏の高校で福島県の復興や廃炉の現状などを授業で伝える取り組みを始めた。課題となっている風評・風化の深刻化を防ぐため今後、継続して事業を展開する。
- 12月8日 午前2時29分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。宮城県大崎市、福島県いわき市、白河市、須賀川市、相馬市、南相馬市、鏡石町、天栄村、泉崎村、中島村、棚倉町、玉川村、浅川町、福島広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町で震度3。
- 12月8日 日本時間午前6時30分と6時57分ごろ、米オレゴン州沖でマグニチュード5クラスの地震が立て続けに発生した。
- 12月8日 青森県風間浦村の富岡宏村長が定例村議会一般質問で、に原子力関連施設を含む企業誘致構想があることを示した。ただし、原発から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分場の誘致は検討から除外するとした。
- 12月8日 原子力規制委員会の更田委員長が、福島第一原発の汚染処理水の海への放出について、年内に東電が実施計画を提出しないと2023年春からの予定通りの開始は難しくなるとの見解を示した。
- 12月8日 原子力規制委員会の臨時会議で、関西電力の森本孝社長らと原子力安全に関する意見交換を行った。関電は新規制基準下で初の40年超運転入りした美浜発電所3号機の再稼働までの準備、原子力安全向上の取り組みを紹介。規制委からは各発電所のトラブルや労災防止の取り組みを問う声があった。

- 12月8日 国際廃炉研究開発機構が、福島第一原発の燃料デブリ取り出しに向けた技術開発をテーマに、いわき市でシンポジウムを開催した。機構と学生が発表を行い、技術開発の最新動向に関する情報を共有した。オンラインを中心に400人以上が聴講した。
- 12月8日 16時22分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。宮城県石巻市、角田市、岩沼市、登米市、蔵王町、大河原町、宮城川崎町、亘理町、山元町、福島県相馬市、田村市、南相馬市、福島伊達市、国見町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、飯舘村で震度3。
- 12月8日 22時44分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.3と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度4。
- 12月9日 午前11時05分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.0と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度5強、奄美市で震度3。
- 12月9日 午前11時09分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月9日 東京電力が、福島第一原発の汚染水から放射性セシウムを取り除く設備がある建屋で、セシウムの吸着材などが入った金属製の「吸着塔」(直径約1.3メートル、高さ約3.6メートルの円筒形で、重さ約28.5トン)の搬出作業中にクレーンが故障し、吸着塔が床から高さ4メートルで宙づりになっていると発表した。
- 12月9日 柏崎刈羽原発で、地中の杭に損傷が見つかり中越沖地震の影響が指摘されている問題で、原発には地震以降、一度も詳細な点検をしていない杭がおよそ1800本あることが判明。東京電力は「点検の必要はない」と判断していた。
- 12月9日 3月の水戸地裁の避難計画の不備を理由に東海第2原発運転差し止めに命じた判決に関連し、柏市の太田和美市長が、市議会定例会で「原発事故の深刻さは重々承知しており、再稼働しないことが望ましい」と再稼働に慎重な立場を示した。一般質問に答えた。
- 12月10日 四国電力が、運転再開した伊方原発3号機の設備に貝やクラゲなどの海生生物が付着した疑いがあり、清掃作業を実施すると発表した。営業運転を来年1月4日に始める予定だったが、遅れる可能性もある。
- 12月10日 20時14分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは2.9と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 12月11日 午前8時42分ごろ、熊本県阿蘇地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.5と推定。大分県竹田市で震度3。

- 12月11日 島根県が、島根原発2号機再稼働に関する意見交換会を開いた。原発から30キロ圏内の出雲市、安来市、雲南市が避難所などの施設整備への財政支援を求めたのに対し、県は独自に課税する核燃料税を財源とする交付金のうち、県への配分額の一部を3市に充てる考えを表明した。周辺自治体が求めていた立地自治体同様の安全協定締結について中国電力はこれまでと同じく締結を認めなかった。
- 12月11日 16時59分ごろ、京都府北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.7と推定。兵庫県丹波市で震度3。
- 12月12日 12時31分ごろ、茨城県南部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。茨城県結城市、笠間市、筑西市、坂東市、城里町、栃木県足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、下野市、群馬県桐生市、太田市、館林市、板倉町、千代田町、大泉町、埼玉県さいたま岩槻区、加須市、春日部市、久喜市、埼玉美里町、宮代町で震度4、関東広域で震度3。
- 12月12日 原子力規制委員会が、福島第一原発事故で水素爆発を起こした1号機について、原子炉などが入っている建物の内部を調査し、事故の初期段階で原子炉を冷やすために使用した設備などを捉えた映像を公開した。
- 12月13日 玄海町が、九州電力に玄海原発で、火災や事故が相次いでいることから、再発防止などを文書で申し入れた。
- 12月14日 福島第一原発事故で流出した放射性物質セシウム134が約8年後、北極海内部に到達していたとの研究結果を海洋研究開発機構の熊本雄一郎主任研究員がまとめた。北極海の縁海を越え内部で検出されたのは初。
- 12月14日 東京電力が、福島第一原発の汚染処理水海洋放出方針を巡り、新設する海底トンネルのルートや形状の検討に反映するために台船を使った海上でのボーリングによる地質調査を始めた。岸壁から約700メートルの地点で始まった。長さ35メートル、幅20メートル、重さ約840トンの台船を海上に固定し、海底の深さ約19メートル地点まで掘り進める。
- 12月14日 日本時間12時20分ごろ、インドネシア沖でマグニチュード7.2の地震が発生した。
- 12月15日 関西電力が、運転開始から40年を超えた高浜原発2号機の再稼働に必要な安全対策工事の完了予定を、12月から来年1月末に延期すると発表した。8月に同原発の作業員に新型コロナウイルス感染が相次ぎ工事を約3週間、中断したため。
- 12月16日 北海道蘭越町議会が、定例町議会で、原発から出る高レベル放射性廃棄物の町内への持ち込みを拒否する「核抜き条例」案を全会一致で可決した。条例は即日施行された。

- 12月16日 松江市議会の島根原子力発電対策特別委員会が、島根原発2号機の再稼働に賛成する陳情8件を採択し、反対の陳情21件を不採択とした。21日の11月議会本会議でも採択されれば、島根原発の立地自治体の議会として初めて再稼働に同意の意思を示したことになる。
- 12月16日 東京電力が、福島第一原発1~4号機周囲の地中に造った凍土遮水壁の解けた部分に、地下水の流入を止めるため17日から地中に鋼矢板を打ち込むと発表した。鋼管8本を並べて打ち込み止水を試みたが、効果が確認できず、追加対策が必要と判断した。
- 12月16日 国際環境団体グリーンピースが、福島第一原発汚染処理水の放射線影響評価が、国際原子力機関の指針を便宜的に借用し、韓国をはじめ近隣諸国の市民が受ける被害の影響を考慮しなかったという内容の意見書を東京電力に提出した。ショーン・バーニー氏は、同報告書について「汚染水の海洋放出に正当性を与えるための断片的な放射線評価」だとしたうえで、「東電は十分な科学的根拠なしに10平方キロメートル範囲以上の海域と海洋生態系に被害を及ぼさないと断定した」と指摘した。
- 12月17日 中部電力が、浜岡原発で想定される津波の高さについて、**最大で22.5mとする想定**をまとめ、審査会合に提出した。原子力規制委員会の新規規制基準による審査が行われていて、中部電力は約4000億円をかけて、**海拔22mの「防波壁」を建設するなどの安全対策工事を進めてきた。**
- 12月18日 九州電力が、定期検査中の川内原発1号機の発電を再開すると発表した。18日に原子炉を起動し、20日に発電を再開。来月中旬に通常運転に入る予定。
- 12月18日 台湾で行われた国民投票で、第4原子力発電所(新北市貢寮区)の稼働が不成立となった。
- 12月19日 日本時間午前5時05分ごろ、南アフリカ領のプリンス・エドワード島沖でマグニチュード6.0の地震が発生した。
- 12月20日 日本時間午前6時06分ごろ、ラオスでマグニチュード5.6の地震が発生した。
- 12月20日 中国の山東省で、中国核工業集団が開発したペブルベッド型高温ガス炉(PBR)の原子力発電所が稼働した。総発電能力は200メガワット。2号基は現在建設中。
- 12月20日 浜岡原発で災害が起きた際の広域避難に関する説明会が御前崎市で行われ、市危機管理課の担当者は、原則として自家用車での避難を呼びかけた。

- 12月21日 午前1時05分ごろ、日高地方中部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.8と推定。北海道安平町、むかわ町、平取町、新冠町、浦河町、新ひだか町で震度3。
- 12月21日 日本時間午前5時10分ごろ、米国・カリフォルニア州の沖合でマグニチュード6.2の地震が発生した。
- 12月21日 福島第一原発の汚染処理水について原子力委員会による認可が必要で東京電力は新たな工事計画などを盛り込んだ実施計画の変更認可申請書を提出した。計画では処理水を100倍以上に薄めて放射性物質のトリチウムの濃度を国の基準の40分の1以下にする。
- 12月21日 東京電力が、福島第一原発の汚染処理水を海へ放出するための実施計画を原子力規制委員会に提出したことにに関して、福島県いわき市の内田市長は「まだ地元の合意が得られていない」として遺憾の意を表した。

12月21日 日本政府が、北海道から岩手県にかけての沖合にある「千島海溝」と「日本海溝」で、マグニチュード9クラスの巨大地震が起きた際の被害想定を公表した。地震の後に発生する津波により、犠牲者の数は19万9千人に達するという。

- 12月21日 玄海原発での事故を想定し、自治体や国の機関などが参加した「原子力防災図上訓練」が唐津市で行われた。
- 12月22日 日本時間午前7時42分ごろ、アラスカ半島沿岸でマグニチュード5.9の地震が発生した。
- 12月22日 中国外務省の趙立堅副報道局長が、福島第一原発汚染処理水の海洋放出計画を原子力規制委員会に申請したことに「重大な懸念」を表明した。
- 12月22日 福島第一原発の処理処理水を海洋放出するための実施計画の審査を原子力規制委員会に申請したことを巡り、韓国政府が在韓日本大使館の関係者を呼んで憂慮を表明した。
- 12月22日 原子力規制委員会が、東海第二原発について、テロ対策などに必要な施設の設置計画を正式に許可した。福島第一原発と同じ「沸騰水型」の原発で許可を受けたのは初めて。
- 12月23日 日本時間午前8時22分ごろ、メキシコ沿岸でマグニチュード5.9の地震が発生した。
- 12月23日 四国電力が、2022年1月4日に予定していた伊方原発3号機の定期検査終了を20日間延期し1月24日とすると発表した。タービンを回した蒸気を水に戻す設備「復水器」内の細管の清掃作業に時間がかかるのが原因。

- 12月23日 関西電力が、廃炉作業中の美浜原発1、2号機のタービン建屋を報道陣に公開した。2017年に始まった廃炉作業は、22年度からは原子炉周辺設備の解体など第2段階への移行を計画している。
- 12月23日 原子力規制委員会が、再稼働を目指す女川原発2号機について安全対策工事の計画を認可した。原発事故を受けて作られた新しい規制基準の適合性審査で、防潮堤の強度など詳細な設計を盛り込んだ女川原発2号機の「工事計画」を認めた。
- 12月23日 萩生田経産相が、いわき市で県漁連の野崎会長と面会。福島第一原発の汚染処理水の処分については「廃炉を進めていくうえで避けては通れない課題」としたうえで、地元の漁業者との信頼関係の構築に取り組むと話した。
- 12月23日 ベルギー連立政権を構成する7党が、国内の原発の原子炉7基全てを当初の計画通り2025年までに段階的に閉鎖することで合意した。正式決定は来年3月に下される見通し。
- 12月24日 東京電力が、柏崎刈羽原発7号機の消火設備で消火剤を流す配管の溶接工事をした3846カ所のうち、約4割に当たる1537カ所で再施工すると発表した。6、7号機の消火設備を巡っては、東電は7月に6号機で30カ所の不備が見つかったと発表。その後、再稼働を目指す7号機で先行して調査を進めていた。
- 12月24日 文部科学省の堀内義規大臣官房審議官が、来年度予算案の説明のために福井県庁で面談した際、櫻本副知事に廃炉作業が進む高速増殖炉「もんじゅ」で懸案の原子炉の冷却材、液体ナトリウムの処分について、イギリスの企業に搬出することを伝えた。
- 12月25日 午前9時31分ごろ、栃木県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.7と推定。福島県下郷町で震度3。
- 12月25日 太平洋南西部のパプアニューギニアでマグニチュード5.0の地震が発生した。
- 12月26日 17時26分ごろ、宮古島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.0と推定。沖縄県宮古島市で震度4。
- 12月27日 韓国政府が国内原子力発電所の安全性を強化するため、関連研究開発に2029年までに計6424億ウォン(約620億円)を投じることを決めた。
- 12月27日 立憲民主党の泉健太代表が、福島第一原発を視察した。原発敷地内の汚染処理水保管の限界や、放出をする場合の数値の説明を受けていく中で、やはりまだ県民の理解が得られていない。だからこそ漁業者、農業者、県民全体に対するより一層丁寧な説明が不可欠だと語った。

- 12月28日 福島第一原発の処理水を海に放出する方針を決めたことを受け、政府は周辺で風評被害が生じる場合に備え、水産物を買収する基金をつくる対策を盛り込んだ行動計画を決定した。今年度の補正予算で300億円を計上した。
- 12月28日 経済産業省が、プルサーマル発電推進に向けて原発が立地する自治体のうち、新たに受け入れたところに交付金を出す制度を来年度設ける方針を決めた。
- 12月28日 中国外務省の報道官が、定例記者会見で日本政府の決定について「中国は日本が一方的に放射能汚染水放出計画を発表したことに重大な懸念を表す」と述べた。
- 12月29日 午前11時33分ごろ、東京都23区を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.4と推定。東京都練馬区で震度3。
- 12月29日 日本時間14時08分ごろ、ギリシャ南部クレタ島沖でマグニチュード6.1の地震が発生した。
- 12月30日 日本時間午前3時25分ごろ、インドネシア付近(バンダ海)でマグニチュード7.3の地震が発生した。
- 12月31日 14時52分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。石川県珠洲市で震度3。